

# 学校感染症等に係る登校に関する意見書

氏 名 (男・女)  
生年月日 平成 年 月 日 生まれ

下記の疾患に罹患したため、学校保健安全法施行規則にもとづき療養を指示していましたが、感染のおそれがきわめて少なくなったので、 月 日以降の登校が可能であると判断しました。

第1種感染症  ( ) [治癒]

第2種感染症  インフルエンザ(A型・B型) [発症した後(発熱の翌日を1日目とする)5日を経過し、かつ解熱した後2日経過 するまで]

麻疹 [解熱した後3日経過]

風疹 [発疹消失]

水痘 [すべての発疹の痂皮化]

咽頭結膜熱 [主要症状消褪後2日経過]

流行性耳下腺炎 [耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日経過し、かつ全身状態が良好]

百日咳 [特有の咳が消失または5日間の適正な抗菌性物質製剤療法が終了するまで]

結核 [感染のおそれなし]

髄膜炎菌性髄膜炎 [感染のおそれなし]

第3種感染症  流行性角結膜炎

急性出血性結膜炎

腸管出血性大腸菌感染症(\*) (\*便の細菌培養において2回陰性が確認されたものとするのが一般的である。

コレラ  細菌性赤痢  腸チフス  パラチフス

## ◆第3種その他の感染症◆

① A群溶血性連鎖球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

② アデノウイルス感染症

③ 感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどによるもの)

④ 急性細気管支炎(主としてRSウイルス・ヒトメタニューモウイルス感染によると思われるもの)

⑤ その他(主治医による出席停止の指示があったもの【感染症名: \_\_\_\_\_】)

いまだ病名の確定には至っていませんが、下記のような病状から「感染のおそれなし」と判断できず、現時点での登校は不適切であると判断します。

( 血液・粘液を含む便 この24時間以内に複数回の嘔吐 原因不明の発しん よだれを伴う口内痛・口内炎  
発熱・脱水などの全身症状と持続する原因不明の腹痛 がんこな咳漱 唾液腺の腫大 )

(  その他の意見: \_\_\_\_\_ )

令和 年 月 日

医療機関名:

診察医師(診察した医師に限る):